

Katori 議会だより

発行：香取市議会
編集：議会広報特別委員会
〒287-8501
千葉県香取市佐原口2127
電話：0478(50)1217
FAX：0478(54)1882

2015.11.1
No.39

THE KATORI CITY COUNCIL NEWS

CONTENTS

- ☆一般質問 市政のここがききたい P2~7
- ☆決算審査特別委員会から P7~8
- ☆各常任委員会の審査から P9
- ☆7月臨時会 採決結果一覧 P10
- 9月定例会 採決結果一覧 P10



▲JR佐原駅前広場が完成し、歩車道が分離したより安全な広場になりました。

25日の初日は、諸般の報告・会期の決定の後、歳入歳出予算に6億3937万8千円を追加し、補正後の総額を434億3995万1千円とする一般会計補正予算、条例の一部改正など19議案、決算認定の13件、報告5件について、市長より提案理由の説明が述べられました。

27日は、議案第1号から第13号について、2人の議員から質疑の後、各常任委員会に付託しました。決算認定13件については、決算審査特別委員会を設置して、審査を付託。陳情1件について、経済建設常任委員会に審査を付託しました。

1日・2日の一般質問では、9名の議員が市政全般にわたり質問を行いました。

8日から10日は、決算審査特別委員会が開かれ、審査を行い、11日・14日は、各常任委員会が開かれ、

付託された議案等の審査が行われました。

18日の最終日は、議案第12号の撤回について、市長より撤回理由の説明があり、採決の結果、撤回が承認されました。次に、各委員長から付託された案件の審査結果が報告され、採決した結果、議案第1号から第11号、第13号について可決されました。次に、市長提出の追加議案11件については、いずれも原案のとおり可決。決算認定第1号から第13号については、2人の議員から討論があり、採決の結果、いずれも認定。諮問6件については、適任者と決定。陳情第2号については、採択。次に、発議案第1号については、採決の結果、原案のとおり可決されました。最後に、香取市農業委員会の委員の推薦が行われ、全日程を終了しました。

7月臨時会

一般会計補正予算など 6議案を可決・承認・同意

9月定例会

一般会計補正予算・平成26年度決算など 42議案を可決・認定

平成27年9月定例会は、8月25日から9月18日までの25日間にわたり開催されました。本定例会には、平成27年度香取市一般会計補正予算議案など30件、平成26年度決算認定の13件、陳情1件、発議案1件が提出されました。

可決された主な議案

7月臨時会

議案第4号 工事請負契約の締結について

水郷佐原水生植物園の施設新築工事について、常総開発工業株式会社佐原支店と工事請負契約を締結するものです。工事の主な内容は、管理棟、体験工房棟、売店棟などの園内施設を建設するものです。なお、工事の完成は、平成28年3月15日を予定しています。

9月定例会

議案第10号 香取市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

市が保有する特定個人情報について、適正な取扱いを確保し、並びに開示、訂正及び利用停止の手續きについて定めるほか、必要な規定の整備を行うものです。議案第11号 香取市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

個人番号の通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を新たに定めるほか、平成28年1月から住民基本台帳カードの新規交付が廃止されることから、同カードの交付手数料を削除するものです。

議案第13号 香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

香取市が設置・管理し、東庄町から香取市へ事務委託されている「おみがわ聖苑」に係る事務を香取広域市町村圏事務組合へ移管することに伴い、同組合の共同処理事務の変更、及び規約の変更をするものです。

9月定例会の日程

8月25日(火)	本会議
27日(木)	本会議
9月1日(火)	本会議(一般質問5人)
2日(水)	本会議(一般質問4人)
8日(火)	決算審査特別委員会
9日(水)	決算審査特別委員会
10日(木)	決算審査特別委員会
11日(金)	総務企画常任委員会 福祉教育常任委員会
14日(月)	経済建設常任委員会
18日(金)	本会議

一般質問 市政の「こ」がききたい

一般質問は、市長などに市政全般に関する疑問点や方針などをたずねるものです。9月定例会では、9月1日(火)・2日(水)にかけて、9人の議員が、一般質問を行いました。紙面では、その一部を要約して掲載しますが、詳細については、議会ホームページ・会議録をご覧ください。(10頁に閲覧についての説明があります)

生活困窮者の自立支援に全力を



田代一男 議員

問 生活困窮者自立支援制度とは、どのような支援制度ですか。

答 生活保護に至る前の段階にある生活困窮者を支援し、自立を促進するための制度で、複雑な問題を抱えた生活困窮者の相談に応じ、専門の支援員が個々の状況に合わせた支援を包括的、継続的に行うものです。

問 平成25年度からのモデル事業を含め、香取市の取り組みとその成果は。

答 平成25年11月から社会福祉法人に業務委託して、香取自立支援相談センターを設置し、自立相談支援事業、就労準備支援事業等を実施しています。平成25年度は、5か月間で28人に対し相談支援を行い、7人が就労、収入増に、う

問 将来的に介護保険料が上がる見込みに、対応する認識なのか。

答 第7期の平成32年には、月額6500円、第9期の平成37年には、月額7600円程度と算出しています。

問 介護保険料抑制のため介護予防事業への取り組み



▲香取自立支援相談センター (北3丁目)

考慮しながら取り組んでいきます。

問 市のロタウイルスワクチン接種率は何%ですか。

答 市には、具体的な資料がありません。厚生労働省の報告から平成24年7月時点で35%、平成25年4月時点で45%と推計されていますので、現在は概ね半数の人が予防接種をしていると考えています。

問 ロタウイルスワクチンの予防接種費用の負担軽減のために助成はできないか。

答 国が定期接種化に向けた検討の継続審議中です。国の動向を注視したいと考えていますが、審議に時間を要するようであれば、独自助成に向けた検討をしなければならぬと考えています。

感震ブレーカーの設置で電気火災の防止を

問 感震ブレーカーの効果は。

答 感震ブレーカーは、火災予防のために分電盤のブレーカーの落とし忘れを補い、地震発生直後だけでなく停電回復後の通電火災の防止を図れることが最大のメリットで、火災の予防対策として大変有効と認識しています。

問 感震ブレーカーの普及率向上のために設置費用の助成はできないか。

答 今後、国や県の対応状況を注視しつつ、当面、先進自治体と同様に市の広報誌やホームページ等により重要性の周知及び普及啓発に努めていきます。

均衡あるまちづくりへ合併特例債は有効活用を



眞本丈夫 議員

合併特例債は旧市町に公平・適正に活用されているか

問 「安心安全なまちづくり」のため合併特例債活用の諸事業が推進されているが、実績と進め方

答 新市の一体感の醸成と地域の均衡ある発展を最優先にして各種の施策、事業を進めてきました。完了した事業は、中学校の耐震補強等整備事業、小見川及び栗源市民センター整備事業、学校給食センター整備事業等です。今後は、現在継続中の幹線市

問 私の事前調査では全起債額187億円

答 道整備事業、水生植物園再整備事業等、市の発展の礎となる各種事業の推進を図るため、財政状況に十分留意し、引き続き合併特例債の政策的、計画的な活用を図っていきます。

で、活用額は55億2000万円。土木分野では、事業費56億2000万円、活用額は、33億3000万円。消防分野では、事業費38億5000万円で、活用額は34億2000万円。総務分野では、事業費29億円で、活用額は20億7000万円。衛生分野では、事業費21億6000万円で、活用額は18億3000万円です。平成27年度予定事業費の合計は、61億6000万円で、特例債予定額は51億4000万円です。



▲いぶき館竣工式 (羽根川)

特例債は財政健全化 指針と整合性を取りながらの活用を

問 人口動態とこれまでの交付税の推移と今後の推移は。

答 平成27年4月1日の人口は、8万647人で、平成18年4月1日の合併直後より、約9500人減少しています。国立社会保障・人口問題研究所の推計値では、10年後には6万8000人程度と推計されています。普通交付税等は、平成18年度、81億6000万円でしたが、平成21年度以降は、地域活性化・雇用等臨時特例費等が加算され大幅に増加しており、平成26年度では、95億2000万円となっています。今後は、国勢調査人口の大幅な減少が見込まれるほか、平成28年度から合併算定替えの段階的な縮減が始まるため、大幅に減少していくと見込んでいます。

問 地方交付税の一本算定移行の影響額は。

答 平成25年度時点では、合併算定替えから一本算定への移行による影響額を、約20億4000万円の減額と試算していましたが、その後、総務省により支所経費、消防費、清掃費などの経費について、見直しが行われたため、当該影響額は半減すると見込んでいます。

問 公債費の償還のピークはいつ頃、どの時点になるのか。また、住民サービスへの影響は。

答 公債費の償還のピーク等は、現在策定中の中期財政推計において、お示ししていきたいと考えています。公債費の増大が、住民サービスの低下につながるよう、行財政改革等を一層推進していきます。

問 実質公債費比率は大丈夫か。

答 公債費増大の主な要因である合併特例債は、今後も長期間活用していく予定ですが、その元利償還金の7割は、普通交付税に措置されるので、基本計画の目標値である13%の範囲内に収まると考えられます。

問 償還が本格化する時期に財政は厳しくなるが、税取アップや歳出抑制策は。

答 歳入では、雇用の場の確保により人口減を抑え、個人市民税、法人市民税及び固定資産税の確保に努めます。また、与田浦太陽光発電所に続き、平成27年9月中には、さらに4か所の太陽光発電所から売電が始まります。歳出では、組織の効率化、職員数等の削減による人件費の抑制等を今後も継続するほか、一部事務組合にも行財政改革の推進を求めています。今後の主な特例債事業と活用推定額は、現在継続中の事業と水道事業等の新たな検討事業を含め、平成28年度から10年間の概算で約180億円程度を見込んでいます。

問 公共施設等総合管理計画の策定にあたってのコンセプトとその概要は。

答 公共施設の現状や実態を明らかにし、特徴や課題等を整理、調査、分析します。また、人口動態

問 香取中の統廃合の第一の理由は、全学年すべてが1学級になった場合というが、全学年が1学級の新島中と栗源中は統合するのか。

答 新島中学校は、佐原中学校への統合ということで計画されていますが、栗源中学校は、現在、コミュニティスクールとして指定を受けていることから、成果を検証したうえで、生徒数の推移を注視しながら再編統合について検討します。

問 香取中は、来年、全学年が2学級となり統廃合の対象ではありません。全学年が1学級になるのは何年後で平成何年か。

答 社会的要因を除いた中で推計ですが、平成37年度に全学年が1クラスになると見込んでいます。

問 新島中と栗源中が当面統合しないのであれば、香取中が統合する必要はないのではないか。

答 中学校としては、各学年が少なくとも2クラスはあった方がいいと思われませんが、香取中は将来全学年が1クラスになる

問 学習効果・教育効果は少人数学級の香取中がよい

答 成績をアップするには、40人学級の佐原中

問 香取中より少人数学級の香取中の方がよいのでは

答 学習効果という点では、少人数の方がきめ細かな指導ができると思われませんが、生徒は集団の中で切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくもので、全体的に考えると、一定規模の人数がよいのではないかと思われます。

問 学校と保護者の間で認知の差がありますのでわかりにくい面がありますが、市内の小中学校において、学校の規模と出始めの出現率に関連性はないと考えています。

問 部活動でレギュラーになり大会に出場することによって大きく成長します。大規模校の佐原中ではなかなかレギュラーにはなれません。小規模校の香取中の方がよいのでは。

答 生徒数が一定以上いることにより、部活動の選択肢が増えます。また、競争による競技力の向上効果もあると思われます。部活動に積極的に参加することで協調性・責任感・連帯感などが培われ、かなりの教育効果があるものと考えています。

問 津宮地域全体に説明会・アンケートを行うべき

答 まず、保護者に対するアンケートを行い、統合に向けて検討するべきということになれば、地域の代表者等を交えて検討会議を開催していくという手順になります。

香取中の佐原中への統合は必要ない

久保本宗一 議員



ことが推計されていますので、教育環境の維持向上のためにも、早めの取り組みが肝要と考えています。

問 香取中は、来年、全学年が2学級となり統廃合の対象ではありません。全学年が1学級になるのは何年後で平成何年か。

答 社会的要因を除いた中で推計ですが、平成37年度に全学年が1クラスになると見込んでいます。

問 新島中と栗源中が当面統合しないのであれば、香取中が統合する必要はないのではないか。

答 中学校としては、各学年が少なくとも2クラスはあった方がいいと思われませんが、香取中は将来全学年が1クラスになる

問 学習効果・教育効果は少人数学級の香取中がよい

答 成績をアップするには、40人学級の佐原中



▲香取中学校(津宮)

問 学校と保護者の間で認知の差がありますのでわかりにくい面がありますが、市内の小中学校において、学校の規模と出始めの出現率に関連性はないと考えています。

問 部活動でレギュラーになり大会に出場することによって大きく成長します。大規模校の佐原中ではなかなかレギュラーにはなれません。小規模校の香取中の方がよいのでは。

答 生徒数が一定以上いることにより、部活動の選択肢が増えます。また、競争による競技力の向上効果もあると思われます。部活動に積極的に参加することで協調性・責任感・連帯感などが培われ、かなりの教育効果があるものと考えています。

問 津宮地域全体に説明会・アンケートを行うべき

答 まず、保護者に対するアンケートを行い、統合に向けて検討するべきということになれば、地域の代表者等を交えて検討会議を開催していくという手順になります。

問 合併特例債の活用について

答 合併後10年間の活用額は今年度見込みも含め215億8千万円とのことだが、今後10年間の活用予定額は、概算で、約180億円程度を見込んでいます。

問 20年間の合併債活用及び予定額は約400億円になる。市の負担は120億円で済むが、一方120億円は市の借金でもある。厳しい財政状況の中、将来的に市の大きな財政負担になる。市の見解は。

答 償還していくための道筋、予定をきちんと立てて、中期財政計画等にも盛り込むとともに、

問 旧清見屋跡地の活用について

答 市は旧清見屋跡地にどのような施設を造ろうとしているのか。

答 公共公益施設等の生活サービスを中心市街地に集積し、子供から高齢者まで全ての世代の人々が集う市民交流活動の拠点施設となることを目的としています。また、施設が中心市街地の交通結節点である佐原駅近くに整備されるという立地特性を活かして、地域資源、魅力を観光客に発信、提供することにより、市の観光振興がさらに図られることも期待しています。

合併特例債の活用について

鈴木聖一 議員



問 合併後10年間の活用額は今年度見込みも含め215億8千万円とのことだが、今後10年間の活用予定額は、概算で、約180億円程度を見込んでいます。

問 20年間の合併債活用及び予定額は約400億円になる。市の負担は120億円で済むが、一方120億円は市の借金でもある。厳しい財政状況の中、将来的に市の大きな財政負担になる。市の見解は。

答 償還していくための道筋、予定をきちんと立てて、中期財政計画等にも盛り込むとともに、

問 旧清見屋跡地の活用について

答 市は旧清見屋跡地にどのような施設を造ろうとしているのか。

答 公共公益施設等の生活サービスを中心市街地に集積し、子供から高齢者まで全ての世代の人々が集う市民交流活動の拠点施設となることを目的としています。また、施設が中心市街地の交通結節点である佐原駅近くに整備されるという立地特性を活かして、地域資源、魅力を観光客に発信、提供することにより、市の観光振興がさらに図られることも期待しています。



▲旧清見屋跡地(佐原イ)

今後、基本計画や基本設計の段階で具体的な施設の機能や規模などについて協議、検討していきます。

問 何を造るかという基本計画は市が作るべきもの。業者に委託するの

答 市はこういうものをつくりたいという考えを持っていきますので、そのレイアウト等を総合的にコーディネートしていくための業者委託と考えています。

問 市民の意見や要望を聞くことは大変重要。いつ頃、どのような方法で行うのか。

答 基本計画の作成過程で、今現在その施設を使われている方々の意見を聴取を行っていきたく考えています。

問 概算事業費総額は、

答 今の段階で基本計画も何もできていません。今後、当然ランニングコスト等もいろいろ考えて維持管理がしやすい、ある

いは地球環境への負荷をできるだけ軽減する、そういう視点も入れて計画していきたいと思っています。事業費の圧縮等には力を注いでいきますが、現段階で額の言及には無理があります。

問 事業費予算が設定されない、橋公園の交流館のように基本設計ができた時にアッと驚くような建設費になるのでは。

答 将来に大きな負担を残すような施設であってはならないと思っていますが、いいものをつくろうとすれば確かに経費もかかります。市民要望との折り合いを見出すべく、今後十分注意していきます。

以上増えることはないか。事業費が10億円も増えた水生植物園の例もある。

答 今後工事を進めていく中で大きな予期せぬ変更要因がない限りは、この事業費で進んでいくと考えています。

問 交流館の計画変更にあたり、どのくらい市民の意見や要望を聞いたのか。

答 あくまでも以前計画を踏襲して、そこに新たに市をPRする機能をつけ加えたことであり、計画を進める中では、高齢者クラブやパークゴルフ協会の関係者等の意見交換で要望を聞いています。基本的には必要な施設については、生きたい交流館のときにワークショップを重ねて決まったものを踏襲しています。

院に関わる人すべてがその立場になって考え、発言、行動することが大切だと思います。そのためにも市民一人一人が自分の身体や病気に関心を持って、医療や健康について学ぶことも重要と考えます。市は、健康や検診に関する情報の提供や相談体制を強化していきたいと考えています。

問 DPC(包括医療費支払い制度)を通して病院力を向上させる必要がある。DPC係数の内容とは。

答 DPCは、従来の診療行為ごとの点数をもとにする出来高払い方式と異なり、最も医療資源を投入した1疾患のみに1日当たりの定額点数の包括部分と従来どおりの出来高評価部分を組み合わせる方式です。この係数が大きい病院ほど高度な医療機能を有し、1日当たりの診療報酬単価を高く請求することができるとなっています。



▲デマンドタクシー利用者の乗降の様子(小見川総合病院(南原地新田)にて)

の一部が該当します。

問 実証運転における予算額と実績は。

答 平成25年10月から現在までの予算額は、1860万6000円です。運賃収入と補助金収入を差し引くと市の負担額は約1080万4458円でした。

問 利用者と運行者ではそれぞれの立場での問題点は。

答 高齢者の方が多人数で乗り合わせた場合、歩行補助用具等が載せられない等の問題があるようですが、この場合は、福祉タクシー等のご利用をお願いしたい。

問 将来、車の運転がでなくなり市民の交通手段をどのように考えているか。

答 公共交通サービスによる市内全域のきめ細かな対応は、効率性の面からも限界があります。福祉輸送サービスなどの他の交通サービスの利用を検討していただくことも必要と考えます。

地域医療に起きてきている問題解決の一端を掘り出す



小野勝正 議員

問 全員協議会の説明では事業費総額は約31億円とのことだが、これ

は事業費総額は約31億円とのことだが、これ

は事業費総額は約31億円とのことだが、これ

は事業費総額は約31億円とのことだが、これ

は事業費総額は約31億円とのことだが、これ

は事業費総額は約31億円とのことだが、これ

問 医師不足が深刻な社会問題になっているがその原因は

少ない医師で多くの仕事をこなさなければならぬ。労働環境が劣悪な状況と言われているが、現状は。

小見川総合病院では、常勤医師の1か月の勤務時間は、モデルケースで200時間です。超過勤務時間は、常勤医師1名あたり約230時間と聞いています。

地域医療の問題を病院だけに頼るのではなく、市と地域全体で考えていかなければ再生できないのでは。

地域医療の再生は、市や市民を含めた病

地域医療の再生は、市や市民を含めた病

地域医療の再生は、市や市民を含めた病



宇井正一 議員

非核平和宣言都市として、市は安保法制に反対の見解を

問 市は、地球上からの戦争をなくし、世界の恒久平和実現に向け「非

核平和都市宣言」をしています。安保法制は戦争法であると議論されており、国に対して反対の意見を届けべきである。

答 安保法制については、国の防衛や安全保障

に係る国の専権事項で、現在、開会中の国会において審議中ですので、市議会における当該質問に対して、市長としての見解を申し上げることは差し控えさせていただきます。

(仮称) 交流館事業は、当初計画の木造平屋建てへ

問 橋ふれあい公園(仮称) 交流館事業は、当初の計画と大きく変更されています。なぜ木造平屋建てを2階に変更したのか。

答 橋ふれあい公園(仮称) 交流館は木造平屋建ての計画でありましたが、200平米以上の集会施設については特殊建築物となり、建築基準法の規定により耐火建築物としての対応が必要となりました。また、耐震性や耐久性などを考慮すると木造建築は優位性に欠ける部分もあり、さらに、維持管理費を含めて比較検討した結果、鉄筋コンクリートづくりが有利であると判断しました。私有地園の整備に当たり、拡張するための用地約7.7ヘクタールについて地権者の協力を得て全て買取する計画です。また、現在、公園と

して利用している芝生の広場、駐車場、いこいの森の用地に一部借地がありますが、地権者と交渉し今後の整備と併せて全て買収したい。

都市計画区域の指定は住民合意とほど遠い、延期を

問 都市計画区域の指定は、住民は納得しているとはいえません。現段階では住民合意にほど遠い状況にあり、強引に進めることは将来に禍根を残すことになるのではないかと。近隣市町でも、一部指定していません。市はどの時点で、何をもち住民合意と判断したのか。

答 都市計画区域の指定に係る住民合意については、御意見に対する対応策を検討、実施していくことと考えています。防災上や一体的なまちづくりの観点から指定しようとするものであり、今後は個別相談のほか、建築相談会や道路相談会を実施していきたい。

問 新里・大久保地域でまた事故が発生しましたが、交通安全対策は。

答 平成27年7月8日に軽自動車1台、普通乗用車2台が絡む交通事故



▲新里・大久保丁字路交差点(新里・大角)

が発生しています。今回、このような交通事故が発生したことを踏まえ、安全対策を講じていただくよう、引き続き道路管理者並びに交通管理者に要望したいと考えています。

県立佐原病院の存続と充実で地域医療の後退を許さず

坂本洋子 議員



問 地域医療は地域に任せるとする千葉県保健医療計画は今年度で計画期間が終了し、新たな計画

を立てる時期がきています。計画改定の進捗状況は。県は平成27年度中に改定することで進めてきたところですが、介護事業支援計画との整合性や国から示される医療計画作成指針等を反映しながら、

他の都道府県の医療計画と始期を合わせるため、平成30年度を初年度とする計画を策定する予定と伺っています。

問 医療介護総合確保推進法は保健医療計画にどのような影響を及ぼすか。

答 県は医療介護総合確保推進法に基づく千葉県計画を平成26年10月に策定しています。香取海浜区域の計画については、医療機関相互の連携が十分と言えない状況であることから、在宅医療機関のさらなる連携を推進するとともに、診療所の公的支援機能や救急医療など、地域のニーズに即した医療機能の充実を図っていくこととされています。また、保健医療計画の一部として、地域医療ビジョンを策定することとされました。

問 県が策定する地域医療ビジョンに市の意見はどのように反映できるのか。

答 今後に予定される県からの意見照会の際などに、県立佐原病院の将来のあり方について協議をしていきます。

問 第6期介護保険事業の新総合事業は要支援者のデイサービスと訪問介護を介護保険給付から外し、地域支援事業に移行させる制度改悪だが、質の低下を招かないか。

答 平成27年3月31日現在で介護予防、訪問介護及び介護予防通所介護

旧清見屋跡地利用の基本方針は

問 (仮称)総合福祉センター、図書館、公民館、運動施設などの複合施設として整備することだが、基本方針は。

答 公共施設等を中心市街地に集積し、子供から高齢者まで全ての世代の人々が集う市民交流活動の拠点施設となることを目的としています。また、施設が中心市街地の交通結節点であ

る佐原駅近くに整備されるという立地特性を活かして、地域資源、魅力を観光客に発信、提供することにより、香取市の観光振興がさらに図られることも期待しています。今後、基本計画や基本設計の段階で具体的な施設の機能や規模などについて協議、検討していきます。

問 市総合計画における(仮称)総合福祉センターのコンセプトは。

答 子供から高齢者まで誰でも地域で生き生きと自立した生活が送れる



▲県立佐原病院(佐原イ)

社会を目指す、地域福祉の中心的な役割を担う施設として整備するというものです。

農業を基幹産業とする香取市、2年連続の米価下落対策は

前年度米価の異常安値が香取市に与えた影響をどのように把握し、今年度米価の状況は。

平成26年度産産産者米価の異常安値の影響は、作付面積が約

小・中学生の夏季休業について

伊藤友則 議員



夏季休業中の生活指導は、どのように行っているか。

各学校において、夏季休業中の過ごし方についての留意点を記載したプリントを児童生徒向け及び保護者向けに作成し、夏季休業前に配布しています。これをもちに児童・生徒が一日の生活の計画を立て、規則正しい生活ができるように、担任が学級の時間に指導しています。保護者に対しては、個人面談及び休業前のPTA集会で、各家庭の責任において、子供たちが有意義な生活を送れるよう留意していただきたい点などを指導、伝達しています。

6800ヘクタールで、1俵3000円の減額とする

と、生産額で約20億円の減額と試算されます。地域経済への影響は、この3倍とも言われており、水稲生産農家及び地域経済に甚大な影響があったと考えています。

今年度の生産者米価は、昨年度と比較すると、買入価格が500円程度高値で推移しているようですが、依然低水準となっています。

伊藤友則 議員

夏季休業中の小学生における国語・算数の課題・宿題の詳細は。

小学校では、ほとんどの学校で算数と国語が1冊の冊子になった市販教材を購入して、宿題として提供しています。また、学校によっては、漢字、計算ドリルやプリント等を宿題として提供しているところもあります。中学校では、全ての学校で市販教材を購入して、宿題として提供しています。また、多くの学校で学校独自のプリントを教科ごとに作成し、あわせて宿題として提供しています。

文化課題の提出状況並びに、作文・絵画・読書感想文等の多岐にわたる提出物に対する保護者への説明は。

小学校で最も多く実施されている方法は、ポスター・工作等の図工作品及び科学工芸作品や研究レポート、観察記録といったものの中から1点、読書感想文、作文から1点の合計2点の提出をさせる方法です。中学校でも、2点から3点を、美術関係、国語関係、理科関係のカテゴリーの中から選択して提出させています。保護者に対しては、全ての学校で課題の選択や取り組み方法について、夏季休業前のPTA集会や学級懇談会で説明を行い、また夏季休業中の個人面談時に説明し理解を図っています。

長い夏季休業中における登校日は、互いが久しぶりに顔を合わせる機会であり、緊張感を植えつける有効なものと考えます。全校または学年登校日の詳細は。

登校日には、多くの小学校で学級の時間を設け、課題の進捗状況の確認や提出、夏休みの生活についての指導、鼓笛の練習等を行っています。中学校では、課題の取りまとめ等のほか、社会体験学習の事前指導や確認、体育祭の準備等を行ったり、学習会やテストを行ったりしている学校もあります。また、全校集会を開いて、夏季休

業中に行われた各種大会やコンクールの表彰等を行っている学校もあります。



▲香取小学校のプールの様子(香取)

水泳指導について

水泳(プール)指導の開催日・回数等の設定及び監視員の体制と安全対策についての詳細は。

夏休みの水泳指導については、7月から8月の前半にかけて、小学校15校で実施しています。学校ごとに開催日を設定し、5回から10回程度、それぞれの学校の実情に応じて開催しています。

市民の納得する橋ふれあい公園整備を望む

河野節子 議員



旧山田町時代からの、市民参加で作られている牧野の森基本計画策定以来橋ふれあい公園整備を含む現在までの経緯は

平成19年3月に橋ふれあい公園を含む周辺一帯について牧野の森基本計画とし、橋ふれあい公園や里山保全区域などの整備計画を策定しました。その後、平成22年11月に牧野の森基本計画の見直しを行い、新たにグラウンドゴルフ場等の整備を含めたふれあい健康増進区域の整備計画を加えました。

さらに、平成24年度に橋ふれあい公園を牧野の森の中核施設として見直しを行い、橋ふれあい公園の整備方針及び導入施設の検討を行うとともに、平成25年度からは詳細な設計業務を進めてきました。

建設費が3か月で3倍(15億1545万円)になった交流館は大幅な計画変更

事業費が大幅に増加した要因は。

調査の結果、軟弱地盤対策が必要になったこと。約12パーセントの材料費や工事費の高騰があったこと。(仮称)交流館に新たに市をPRする機能を持たせることから、約485平米の施設面積が増加したこと。建築基準法の規定により、耐火・耐震対策が必要になったこと。展望デッキの新設等が増加したことが要因です。

施設の内容として、市民と協働で策定してきた計画を基本に作業を進めてきました。

市民に対して計画の大幅な変更を説明しているか。

市民に対する説明は行っていませんが、これまで、予算などについてその都度議会でも説明をしながら事業を進めてきました。



▲橋ふれあい公園(仁良)

問 URと随意契約した理由は。

答 URは地方公共団体からの要請に基づき、本来、地方公共団体が行う公平性・中立性が求められる業務を地方公共団体に代わって行う団体で、唯一の公的機関です。公園の整備のためには、造園を初め土木・建築・電気等各分野にわたる技術職員が必要となりますが、URへ委託することによって技術職員の一時的な増員を避けることができ、行政組織の効率化に配慮しつつ事業を進めることができます。

問 市民の税金を使うのだからもつとシビアにするべき。URに丸投げしていいのではないか。

答 URと逐次協議しながら、進めています。丸投げはしていません。交流館の建設費が高すぎる

問 坪250万円の建設積算根拠は。

答 (仮称)交流館の建設費については、基礎工事を含めて積算すると今回の金額になります。最近、市で発注した建築物の平米単価と比較しても決して高いということではありません。

問 17か所も地盤測量をする必要性は。

答 建物の下だけではなく公園全体に盛り土をします。地形の状況や面積などから17か所必要であるという判断のもとに

実施しました。

問 交流館建設でURに払う事務費7千万円があれば、地元の人材や事業者を育成できる方法を考えられないのか。

答 建築等の技師のほか発注事務や各種調整事務など様々な方が関わってきますので、アウトソーシングを考えていく必要があると思われま。

問 公園全体で14万人、交流館で7万人という集客を見込んでいるが、その算定根拠は。

答 公園の来場者数の算定根拠については、都市公園の利用実態調査やオートキャンプ場白書から14万人と算定しました。(仮称)交流館については、一般的に公園の中心施設であるビクターセンターは来場者数の半分程度を見込むこととなつていますので、7万人を想定しました。

問 維持管理費の積算は。

答 維持管理費は推定で(仮称)交流館は1300万円、パークゴルフ場は3000万円となります。

問 用地買収費が2億4千万円ついているが、牧野の森で市民に無償提供されている土地も含まれている。公園一帯の整備となつてくると買収するの

答 牧野の森の中の里山保全区域については、現在のところ、買収する予定はありません。

決算審査特別委員会から

8月27日(木)の本会議で設置された決算審査特別委員会に平成26年度の決算認定13件が付託され、9月8日(火)から10日(木)までの3日間に審査が行われました。ここでは、主な審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。



▲地域振興事業の活動の様子(小見)

実質公債費比率及び将来負担比率については、ともに平成25年度より低下しており、改善が図られています。

問 地方交付税の今後の歳入見通しは。また、これに關して財政基盤の確立に向けた財政計画の見通しは立っているか。

答 国調人口の減少により、基準財政需要額が大きく減少する上、平成28年度から合併算定替が段階的に縮減されます。今後の財政の見通しについては、平成37年度まで中長期財政計画を策定しており、今後お示します。

問 定員管理の状況に關し、人口千人当たりの職員数が全国平均・県平均を上回っている。これに対する今後の対応は。

答 類似団体との比較では、ほぼ横ばいで推移しています。経常収支比率については、平成25年度より若干悪化したものの、良好な水準を保っています。また、引き続き、次期

委員長	伊藤 友則
副委員長	田代 一男
委員	久保木清司
委員	平野 和伯
委員	高木 寛
委員	林 信行
委員	河野 節子
委員	平松大建明

市民福祉部 関連の事項

問 家庭児童相談室の運営状況と関係機関との連携は。

答 子育て支援課子育て推進班内の児童虐待担当職員2名が家庭相談員と問題対応しています。連携については、児童相談所、警察署、健康づくり課、教育委員会、各学校、幼稚園、保育所等と連絡調整し、情報の共有をしています。市町村合併後、家庭相談員は2名で対応していますが、家庭環境の複雑化で、業務が多岐にわたり、対応が困難なケースが発生してきています。

問 臨時福祉給付金支給対象者数は。

答 支給対象者は1万5260人ですが、この中には他市町村に住む親または子などの扶養となつている方も含まれており、臨時福祉給付金の支給対象から外れますので実際の支

教育部 関連の事項

問 小学校標準学力調査の結果を教育計画と指導方法の改善にどのよう

答 学校において、授業の改善を図るために教員が調査結果を踏まえて教材研究や授業を行つたり、管理職が各教室を回り、板書や授業展開の仕方等の指導をしたりして改善に努めています。

問 食物アレルギーを持つ児童生徒の対応については。

答 平成26年度、学校給食における食物アレルギー対策検討委員会を開催しました。その中で、食物アレルギー除去食の対応について検討しました。その中で、希望者に乳と卵を除去した汁物を提供するこ

総務企画部 関連の事項

問 決算状況を示す財政指標等から、市の財政

状況についてどのような捉えているか。

答 財政力指数については、ほぼ横ばいで推移しています。経常収支比率については、平成25年度より若干悪化したものの、

問 類似団体との比較で多い状況となっているため、一部事務組合の状況等を踏まえて、引き続き、次期

問 地域振興事業補助金の交付団体数が年々減少している原因は。

答 応募回数が増え、2回に減ったことや同一事業では応募ができなかったため、新規の応募自体が減ってきているためです。

給対象者数は特定できない状況です。このような状況のもと、1万3565人の支給決定となりました。

問 出産育児一時金について、実際にかけた費用が42万円を超える場合においても支給限度額は42万円であるのか。

答 出産育児一時金は、一児につき一律42万円支給となっています。



▲佐原野球場(佐原イ)

から実施しています。

問 佐原野球場を整備する考えはあるのか。

答 利用者の減少等に伴い、野球場の整備については、施設を改修するのにか新設するのにかについて検討していきます。

問 香取市校長会・香取市教頭会の概要については。また、教育委員会とどのような形で連携しているのか。

答 全体研修会を校長会は年6回、教頭会は年4回開催しています。研修を通じてそれぞれの立場で資質向上を図っており、

教育委員会からの指導、各学校間の情報交換、研修等を行っています。

経済環境部 関連の事項

問 与田浦太陽光発電所は1億1千万円を超える売電実績があり、このうち6674万8776円が生活環境向上施策推進基金へ積立てられたが、使途は。

答 平成27年度の主要なものは、市及び自治

会で管理する既存の防犯灯を、維持管理費の削減と省エネルギーの推進を目的にLED化する事業を予定しています。

問 防犯灯LED化の進捗状況は。

答 切り替えに必要な調査が終了次第、順次工事を始め、平成28年2月中には工事が完了する見込みです。

問 有害鳥獣駆除事業補助金の目的と金額は。

答 狩猟期間中に有害鳥獣を駆除する目的で、佐原猟友会に12万1500円、香取東部猟友会小見川支部に9万7000円、香取東部猟友会山田支部に9万2000円、香取郡猟友会栗源支部に8万9000円の補助金を交付しています。

問 有害鳥獣の被害状況は。

答 地区要望から、ラス等の被害が報告されています。このため、重点地区を定めて、駆除を実施しています。

問 牧野の森の里山保全管理について、委託内容は。また、委託料が年々減少している理由は。

答 シルバー人材センターへ年間3回程度、遊歩道の除草作業を委託しています。委託料の減少は、県補助金がなくなったためです。

問 アスレチック遊具の保守はどのようにされているのか。

答 アスレチック遊具は老朽化した物から随時修理を行っています。

建設水道部 関連の事項

問 市道II-56号線は、沢地区から中心部へアクセス改善を強化するための幹線道路とされているが、幅員が狭く、冠水する区間があります。冠水対策及び整備の進捗状況は。

答 流末排水対策は、平成26年度から整備を実施し、平成27年度に発注完成します。このため、道路改良に合わせてU字溝等、排水設備を整備することにより、平成28年度以降に排水対策を実施していく予定です。

要望 この路線は、通学路やバス路線でもあり、地域からの強い要望もあるため、早期の改善をしてほしい。

問 仁井宿与倉線整備に関する業務の進捗状況と今後の予定は。

答 流末排水整備事業に時間と費用がかかりましたが、平成27年度で終了するため、今後は道路の本体工事となります。しかし、事業費となる国の交付金が年々減額されているため、現在、交付金の増額の要望を続けています。今後

の予定は、地元との調整、用地問題に見通しが立ったため、課題は事業費の問題となります。希望とおりの交付金が交付されれば、3～4年で供用ができると思いますので、引き続き陳情活動をしていきます。

問 橋ふれあい公園整備事業については、URへの委託等多額の費用がかかる想定される。事業内容で、公園基本設計(仮称)交流館の基本設計、関連市道の実施設計とあるが、市道部分についてもURへ業務委託されているのか。

答 橋ふれあい公園に接する市道部分の設計については、公園の設計との兼ね合いからURに委託しています。ただし、この設計費用については、公園整備の総事業費には含まれません。この市道I-51号線の公園に接する部分以外は、平成26年度に実施設計をし、平成27年度に公園に接する部分も含めて用地測量をする予定です。事業費は5億5千万円を予定しています。

問 橋ふれあい公園整備事業のURとの協定の中で、協定面積が、平成26年6月17日の委託実施協定書では8.5ha、平成

27年3月23日の委託実施協定書の一部を変更する協定書では、11.4ha、平成27年8月18日の全員協議会での説明時は10.6haと変わりました。この協定面積の変更の経緯は。

答 当初、千葉大学に依頼し、作成した基本計画の中では、8.5haでした。これをもとにURと基本設計を進めていき、10.6haに変更となりました。最終的な変更協定では、測量業務を行う際は、10.6haの周囲も含めて地形測量する必要があるため、10.6haを含めた測量対象面積が11.4haと



▲仁井宿与倉線建設予定地(牧野地先)

運用方法は。地方債の大阪府債を購入し運用しています。

選挙管理委員会事務局 関連の事項

問 市議会議員選挙費の減額理由は。

答 衆議院議員選挙と同日選挙となったことから、報酬、職員手当、通信運搬費、電算システム委託料等が削減できたことによるものです。

農業委員会事務局 関連の事項

問 農業委員会制度が変わり、公選制から、任命制に変更となったが、概略は。

答 平成27年9月4日公布の農協法等の一部改正の中に農業委員会等に関する法律があり、これに従って制度が変わりました。市では平成27年9月に改選予定でしたが、改正法の公布により選挙はなくなりま

会計課 関連の事項

問 香取市地域振興基金における有価証券の

定では、測量業務を行う際は、10.6haの周囲も含めて地形測量する必要があるため、10.6haを含めた測量対象面積が11.4haと

各常任委員会の審査から

8月27日(木)の本会議で各常任委員会に付託された案件の審査を9月11日(金)14日(月)に行いました。
ここでは、各委員会の審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

総務企画 常任委員会

継続費の補正に関し、本件改修事業の概要は。

答 築45年以上が経過する鉄筋コンクリー

問 議案第1号 平成27年度香取市一般会計補正予算(第3号)の歳入歳出予算の補正に関し、歳入における国庫支出金及び県支出金の減額理由は、

答 教育費に係る減額は、当初予定していた事業について補助金が措置されなかったことによるものであり、民生費に係る減額は、介護保険料低所得者軽減の対象者の減等に伴うものです。

問 個人番号カード交付事業に関し、個人番号カードの交付は市民全員が予算措置されているのか。

答 市の人口に対し国の試算をもとに割り返したもので、換算すると6300枚となります。

問 個人番号カードに組み込まれる個人情報は何か。

答 住所、氏名、性別、生年月日です。小見川中学校校舎大規模改修事業に係る

問 議案第11号 香取市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、個人番号カードの番号と住民基本台帳カードの番号は連動するのか。

答 議案第11号 香取市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、個人番号カードの番号と住民基本台帳カードの番号は連動するの

福祉教育 常任委員会

問 議案第10号 香取市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、この条例改正は個人番号カードに記録された特定個人情報について新たに付け加えたという理解で良いか。

答 今までの個人情報というものと、今回の番号法に基づく特定個人情報とを明確に区分して、番号法の法制度の内容に合わせたいものです。



▲おみがわ聖苑(小見川)

問 連動はしていません。通知カードをもとに新たに個人番号カードを作成するという事なのか。

答 送付される通知カードとともに個人番号カードの申請書が同封されており、写真を撮り申請した後、平成28年1月から市役所窓口で個人番号カードが交付されることになりました。

問 通知カードと個人番号カードの再交付手数料に差がある理由について。

答 手数料相当経費については、ICカードの購入原価等が入りますので、個人番号カードの再交付手数料の方が高くなり、手数料に差が生じてきます。

問 議案第13号 香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務

組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について、おみがわ聖苑と北総斎場それぞれの内容について差はあるのか。

答 利用料金に差があります。おみがわ聖苑は15000円、北総斎場は5000円となります。

討論 議案第11号 香取市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、マイナンバー制度の導入によって膨大な情報が一極集中し、情報漏えい等の発生が危惧される恐れがあるので、反対するものである。

問 議案第12号 工務施行協定の締結について(橋ふれあい公園(仮称)交流館の建設に関する業務委託)。(仮称)交流館はどのように大規模な施設の必要性はあるのか。また、維持費も高額になると想定できるのでは。

答 当初は被災した老人福祉施設の建て替えを主目的にしていますが、検討した結果、橋ふれあい公園と一体として、情報発信できる香取のシヨウルムとして整備することで、魅力ある施設を作ることとしたためです。

問 議案第12号「工務施行協定の締結について(橋ふれあい公園(仮称)交流館の建設に関する業務委託)。(仮称)交流館はどのように大規模な施設の必要性はあるのか。また、維持費も高額になると想定できるのでは。

答 当初は被災した老人福祉施設の建て替えを主目的にしていますが、検討した結果、橋ふれあい公園と一体として、情報発信できる香取のシヨウルムとして整備することで、魅力ある施設を作ることとしたためです。

問 議案第12号「工務施行協定の締結について(橋ふれあい公園(仮称)交流館の建設に関する業務委託)。(仮称)交流館はどのように大規模な施設の必要性はあるのか。また、維持費も高額になると想定できるのでは。

答 当初は被災した老人福祉施設の建て替えを主目的にしていますが、検討した結果、橋ふれあい公園と一体として、情報発信できる香取のシヨウルムとして整備することで、魅力ある施設を作ることとしたためです。

問 議案第12号「工務施行協定の締結について(橋ふれあい公園(仮称)交流館の建設に関する業務委託)。(仮称)交流館はどのように大規模な施設の必要性はあるのか。また、維持費も高額になると想定できるのでは。

答 当初は被災した老人福祉施設の建て替えを主目的にしていますが、検討した結果、橋ふれあい公園と一体として、情報発信できる香取のシヨウルムとして整備することで、魅力ある施設を作ることとしたためです。

問 議案第12号「工務施行協定の締結について(橋ふれあい公園(仮称)交流館の建設に関する業務委託)。(仮称)交流館はどのように大規模な施設の必要性はあるのか。また、維持費も高額になると想定できるのでは。

答 当初は被災した老人福祉施設の建て替えを主目的にしていますが、検討した結果、橋ふれあい公園と一体として、情報発信できる香取のシヨウルムとして整備することで、魅力ある施設を作ることとしたためです。

討論 議案第12号について、施設建設については反対ではありません。しかし、身の丈にあつた、地元の高齢者の方々が利用できる施設とすることが必要であると思います。そして、この施設は、高齢の方々だけではなく、若いファミリー層の方々も利用できる橋ふれあい公園という施設にしたいと思っています。そうならば多くの方々に来場していただくことができ、集客能力も向上すると考えられます。また、実施設計も完成していない状況であれば、もう一度再考していただき、ほんとうに皆さんが喜ぶ橋ふれあい公園とするために施設の変更をして欲しい。

採決 議案第12号については、賛成・反対が同数となり、委員長裁決により否決されました。

議案の撤回を承認 9月定例会に提出された議案第12号「工務施行協定の締結について(橋ふれあい公園(仮称)交流館の建設に関する業務委託)」は、定例会最終日に市長から議案撤回の説明があり、議会は撤回を承認しました。

撤回理由 ※本会議における市長説明の要旨
本定例会における議員諸氏からの様々な意見等を踏まえ、(仮称)交流館の建設費の縮減を視野に入れ、改めて検討する必要がありますと判断したため。

陳情第2号 「東関道銚子線建設促進を求める意見書」採択に関する陳情

問 国道356号の整備及びバイパスの整備、東総有料道路の整備の県への要望状況は。

答 一般国道356号整備促進期成同盟として県へ要望書を提出しています。また、バイパスの整備では、事業区間の早期完成を目指し、佐原小見川、東庄銚子バイパスの早期事業化を要望しています。東総有料道路についても、県に延伸の要望をしています。

問 整備の状況は。

答 佐原篠原区間は、拡幅を実施しており、小見川・東庄・銚子バイパス区間は、事業を進めています。事業化していない区間は津宮から小見川大橋・河口堰から先が未事業区間です。東総有料道路は、要望していますが、県から具体的話はありません。

問 国道356号の見通しは。

答 県からは「現事業区間の進捗状況により新しい区間を進めていきたい。」と聞いています。

討論 地域の活性化は急務です。周辺の自治体が周辺の自治体の力を借りたいという要望があったということは、手を差し伸べていかないとけないと思います。高速度道路は、難しい問題もあります。賛成の討論とします。

7月臨時会 議員別の採決結果一覧

(開催日 平成27年7月28日)

議案名等	審議結果	久保木清司	小野勝正	平野和伯	田代一男	鈴木聖二	高木典六	高木寛	久保木宗一	林信行	田山一夫	高岡正剛	眞本丈夫	伊能敏雄	坂部勝義	伊藤友則	坂本洋子	林幸安	河野節子	平松大建明	根本太左衛門	宇井正一	木内誠
議案第1号 平成27年度香取市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 平成27年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 工事請負契約の締結について(水郷佐原水生植物園施設新築工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 専決処分の承認を求めることについて(専決処分第6号 香取市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案は、常任委員会に付託されず採決されました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※ 議長(坂部勝義議員)は、採決に加わりません。

9月定例会 議員別の採決結果一覧

◆9月定例会の傍聴者数 25人

議案名等	審議結果	久保木清司	小野勝正	平野和伯	田代一男	鈴木聖二	高木典六	高木寛	久保木宗一	林信行	田山一夫	高岡正剛	眞本丈夫	伊能敏雄	坂部勝義	伊藤友則	坂本洋子	林幸安	河野節子	平松大建明	根本太左衛門	宇井正一	木内誠
議案第1号(総務企画) 平成27年度 香取市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号(福祉教育) 平成27年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号(福祉教育) 平成27年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号(経済建設) 平成27年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号(経済建設) 平成27年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号(総務企画) 平成27年度香取市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号(福祉教育) 平成27年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号(経済建設) 平成27年度香取市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号(経済建設) 平成27年度香取市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号(総務企画) 香取市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号(福祉教育) 香取市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号(経済建設) 工事施行協定の締結について(橘ふれあい公園(仮称)交流館の建設に関する業務委託)	撤回承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号(福祉教育) 香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号(-) 工事請負契約の締結について(小野川水門上流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号(-) 工事請負契約の締結について(北賑橋下流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号(-) 工事請負契約の締結について(十間川水門上流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号(-) 工事請負契約の締結について(桜橋上流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号(-) 工事請負契約の締結について(港橋上流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号(-) 工事請負契約の締結について(柳橋上流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号(-) 工事請負契約の締結について(あやめ橋上流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号(-) 工事請負契約の締結について(水郷大橋町歩道橋液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号(-) 工事請負契約の締結について(十間川橋下流液状化側方流動対策工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号(-) 工事請負契約の締結について(水郷町ポンプ場建設工事(1工区))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号(-) 工事請負契約の締結について(水郷町ポンプ場建設工事(2工区))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号(決算審査) 平成26年度香取市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号(決算審査) 平成26年度香取市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号(決算審査) 平成26年度香取市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号(決算審査) 平成26年度香取市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号(決算審査) 平成26年度香取市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号(決算審査) 平成26年度香取市観光事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号(決算審査) 平成26年度香取市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号(決算審査) 平成26年度香取市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号(決算審査) 平成26年度香取市火葬場事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第10号(決算審査) 平成26年度香取市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第11号(決算審査) 平成26年度香取市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第12号(決算審査) 平成26年度香取市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第13号(決算審査) 平成26年度香取市簡易水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号(-) 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市小野 多田 博氏)	適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号(-) 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ 小林 尚英氏)	適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号(-) 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市寺内 鈴木 美恵子氏)	適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号(-) 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ 八木 秀子氏)	適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第5号(-) 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市山倉 越川 芳明氏)	適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第6号(-) 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ 山村 貞子氏)	適任者と決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号(経済建設) 「東関道銚子線建設促進を求める意見書」採択に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第1号(-) 東関道銚子線建設促進を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号右の()は、審査を付託した委員会名です。 ○：賛成 ×：反対 ※ 議長(坂部勝義議員)は、採決に加わりません。

市議会を傍聴しませんか

12月定例会の日程

- 12月 1日(火) 本会議
- 3日(木) 本会議
- 9日(水) 本会議(一般質問調整日)
- 10日(木) 本会議(一般質問調整日)
- 11日(金) 本会議(一般質問調整日)
- 14日(月) 総務企画常任委員会
福祉教育常任委員会
- 15日(火) 経済建設常任委員会
- 18日(金) 本会議

※上記は予定であり、変更となる場合があります。
※請願・陳情の12月定例会での受け付けは、11月19日(木)午後4時までとなります。

市議会会議録の閲覧・議会中継の視聴について

香取市のホームページから市議会のページを選択されるか、香取市議会ホームページから「会議録検索」・「議会中継」をクリックしますと定例会・臨時会の会議録の閲覧や議会中継の視聴ができます。

会議録…9月定例会の会議録がご覧いただけるのは、11月中旬になります。その他に市役所1階の情報コーナー及び6階の議会事務局、佐原中央図書館・小見川図書館でもご覧いただけます。

議会中継…定例会・臨時会のライブ中継は、香取市議会ホームページ及び本庁で視聴ができます。また、録画映像は、おおむね1週間後から視聴できます。

9月定例会のライブ中継視聴件数 延べ1096件 7月臨時会のライブ中継視聴件数 延べ33件

☆香取市のホームページ…<http://www.city.katori.lg.jp/>

☆香取市議会のホームページ…<http://www.city.katori.lg.jp/gikai/>

